

～高嶋圭子プロデュース～

ダモール

歌とオーボエ、チェロで紡ぐ
平和への誓い



みほ
くにし珠萌(ソプラノ)
MIHO KUNISHI



和久井 仁(オーボエ)
HITOSHI WAKUI



銅銀 久弥(チェロ)
HISAYA DOGIN



高嶋 圭子(作編曲・ピアノ)
KEIKO TAKASHIMA

プログラム

アヴェ・マリア 作曲 カッチーニ

喜歌劇「こうもり」より 名場面集 作曲 ヨハン・シュトラウス

映画「シンドラーのリスト」より メインテーマ 作曲 ジョン・ウィリアムズ

オーボエダモール曲集より 「空と海の彼方へ」 Ob'd+Cello+Pf版 作曲 高嶋圭子

朗読と音楽 絵本「やくそく ぼくらはぜったい戦争しない」 作 那須正幹



他

朗読 丸子 よう子
広島観音高校放送部

2025年 9 月 6 日(土) 17:00開演 (16:30開場)

WAKOデバントホール

〒730-0802 広島県広島市中区本川町2-1-13和光パレス21 5F

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

ご予約・お問い合わせ

電子チケット → PassMarket

Tel 050-3562-3372(高嶋)

お取り扱い:カワイ広島(Tel 082-243-9291)



チケット(当日は+500円) 全席自由席
一般 3,000円/学生 2,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※前売券完売の場合、当日券の販売はありません。

主催:ダモール実行委員会

協力:ポプラ社・童心社

後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)・

東京藝術大学音楽学部同声会・中国二期会・

株式会社河合楽器製作所 カワイ広島・中国新聞社・

公益財団法人広島市文化財団・一般社団法人SpinArt

歌とオーボエ、チェロ、ピアノによるアンサンブル。それぞれが異なる個性を持ちながらも、ひとつに溶け合うような響きが、この編成ならではの魅力です。歌の言葉に寄り添うオーボエの柔らかな旋律、深く包み込むようなチェロの音色、そしてオリジナルアレンジで、既存の楽曲に新たな息吹を吹き込みながら、作品の世界観を豊かに広げていきます。

このユニットは、これまで東京と広島で演奏を重ね、今回で4回目の公演を迎えることとなりました。「戦後80年」という節目の年に、戦争のない平和な世界を願い、演奏をお届けします。また、今回は、広島が生んだ作家・那須正幹さんが遺された絵本『やくそく ぼくらはぜったい戦争しない』を、朗読と音楽によってお届けするという特別なプログラムもご用意しております。

音楽と言葉が交差する、心に深く残る時間を、ぜひ一緒にお過ごしください。



Performer Profile



くにし 珠萌 *Miho Kunishi* (ソプラノ)

文化女子短期大学(現広島文化学園大学)音楽学科声楽専攻卒業。同大学専攻科修了。同大学研究生修了。1997年より演奏活動を開始。コンサート、ディナーショーやリサイタル、講演会等、幅広い演奏活動を行う。カーネギーホール(ニューヨーク)、厳島神社、マツダスタジアムなど世界各地の著名なホールに立つ。高嶋圭子(作曲家)、和久井仁(N響オーボエ奏者)、アーサー・ピナード(詩人)、呉恵珠(ピアニスト)など国内外の演奏家やアーティストと多数共演経験あり。2012年には1枚目のCDをリリース後、計2作を公開(Youtubeにて公開中)。2024年中国二期会50周年記念公演オペレッタ「こうもり」にて主役ロザリンドとして出演。自身の演奏活動のみならず、音楽教室「ムジカカーサ」において幼児期からシニアまでの声楽、ピアノの指導をしている。(株)ムジカ・カーサ代表。中国二期会会員。「どんな時でも音楽があってよかった」と思える人を増やすべく、クラシックの敷居を下げクオリティの高い音楽を届けることを目標としている。「声で絵を描く、心で色をつける」がモットー。



和久井 仁 *Hitoshi Wakui* (オーボエ)

東京芸術大学卒業後、東京佼成ウインドオーケストラに入団しオーボエ奏者とアシスタントコンサートマスターを務めた。2001年4月からは愛知県立芸術大学音楽学部専任講師として勤務した後、2004年4月にNHK交響楽団へ入団し、オーボエ&イングリッシュホルン奏者を務めている。現在、東京芸術大学・桐朋音楽大学オーケストラアカデミーの非常勤講師。トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアのメンバーも兼任。またオーボエ奏者の育成の他、全日本医科学生オーケストラ、西日本医科学生オーケストラ、江戸川フィルハーモニーオーケストラ、葛飾フィルハーモニー管弦楽団、明治大学交響楽団、早稲田大学交響楽団、学習院大学をはじめアマチュアオーケストラのトレーナーも数多く務めている。また近年では指揮者としての活動も並行しており、オーケストラW(全日本医科学生オーケストラのOBを中心としたオーケストラ)・江戸川フィルの演奏会を定期的に指揮。2015年にはアジア初開催の国際ダブルリードフェスティバル(TOKYO)でのオープニングコンサートでも指揮者を務めた。



銅銀 久弥 *Hisaya Dogin* (チェロ)

ソロ、室内楽、オーケストラ客演首席で活躍しており、美しい音色と深い音楽性で多くの聴衆を魅了している。広島市出身。桐朋学園子供のための音楽教室広島教室で、齋藤秀雄氏と門下の著名なチェリスト達の指導を受ける。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)と桐朋学園大学および同大学研究科では、藤原真理、倉田澄子、井上頼豊の各氏に師事。在学中、桐朋学園オーケストラ、広島交響楽団のソリストとして共演した。読売新人演奏会、広島市新人演奏会出演。米国のダングルウッド音楽祭に奨学金を受け参加。1984年からNHK交響楽団で36年間演奏し、次席奏者も務めた。在団中にN響の海外研修員として、ミュンヘンでW. ノータス氏に師事した。さくら弦楽四重奏団では、ベートーヴェン全曲チクルスなどを継続的に演奏している。チェロ四重奏団「ラ・クアルティエーナ」ではCDを多数リリース。ソロCDアルバム『パンペアーナ』も好評を得ている。2012年より桐朋学園大学院大学教授に就任。2022年からは桐朋オーケストラ・アカデミー所長を兼任し指導を行なっている。



高嶋 圭子 *Keiko Takashima* (作編曲・ピアノ)

広島市出身。4歳からピアノを始める。広島市立古田小学校、広島市立庚午中学校、広島県立広島観音高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。中高生時代は合唱部に所属。時には伴奏者、時には歌手となり部活動に明け暮れる日々。高校2年時、作曲の指導者と出会い、和声学・作曲理論を学び始め熱中。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業後の1987年、世界的にも有名なバリ・トロンボーン四重奏団初来日の際にアンコールピースを提供したことがきっかけとなり、トロンボーン作品を書き始める。2011年、東日本大震災発生。「春の呼ぶ声を聞く」「ハナミズキの祈り」など楽曲創作を通し被災地に想いを寄せる。2019年より郷里広島での音楽活動を開始。ピアニストとして演奏にも関わる。2021年2月には広島在住の音楽家と共に個展「ハナミズキコンサート」を開催、また同3月にはヒロシマArt Project80「ヒロシマのこころコンサート」において歌曲4作品(詩:アーサー・ピナード)を発表。同年8月にはオーボエダモアレのための作品集「空と海の彼方へ」CDをリリース。近年では弦楽器のための作品も手がけ、幅広く活動を続ける。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。



丸子 よう子 *Yoko Maruko* (朗読)

NHK-FM「タベのひととき」や広島エフエム放送のDJ、「ひろしま国体」等の開会式式典アナウンサーを務める。その後、NHK広島放送局にてテレビ番組やラジオ番組を担当。主な番組は「お好みワイドひろしま」のキャスター、「西日本特集」など。現在、様々なイベントやコンサートの司会、式典司会、企業ナレーション、キャッシュディスプレイの音声、企業コンパニオン教育などの仕事に携わる。中国新聞文化センター講師、エリザベト音楽大学非常勤講師、公務員弘済会広島支部講師として県内の小中学校へ読み聞かせなどを行なっている。